



安全工学会（特定非営利活動法人）

Japan Society for Safety Engineering

- 1957年7月：安全工学研究会が発足
- 1961年5月：安全工学協会と改称
- 2004年12月：特定非営利活動法人 [安全工学会] が発足
- 2005年3,4月：安全工学協会を解散し、安全工学会に事業を移管

会長：藤原健嗣（旭化成株式会社）

使命：産業災害の防止

主にProcess Safetyの視点から

災害発生、進展の原因・機構の工学的究明
 災害防止と予防：技術・設備と人（経営者、研究者、技術者、技能者）
 安全に関する知識の体系化、普及啓蒙

構成

- 企業会員：84社
- 普通会员：600名
- 学生会員：40名

安全工学会の今後

重厚長大な生産業

機能型製品生産プロセスの安全
 情報と情報システムの安全
 産業、生産の国際化への対応
 巨大自然災害への備え
 生産形態の変化：AI, IoTと人的要素

産業事故発生数の下げ止まり

防災学術連携体の連絡会：2018..6.5

安全工学会 ホームページ：<http://www.jsse.or.jp/>

自然災害への取り組み事例 (安全工学会)

大阪ベイエリアNatech防災研究イニシアティブ

代表：大阪大学・地球総合工学専攻・青木伸一教授

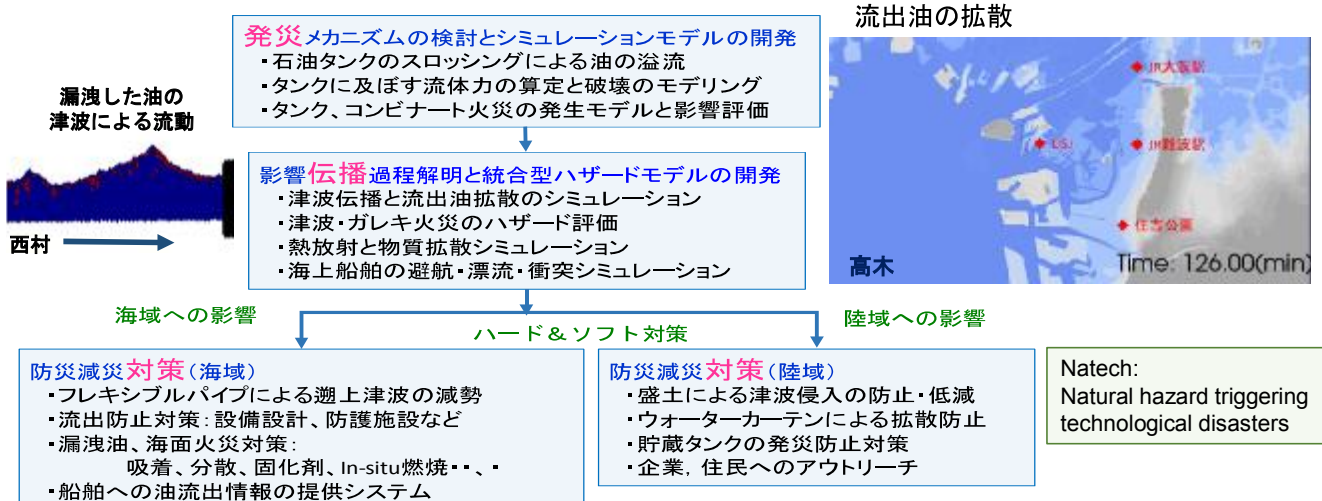


目的

大阪湾岸地域を具体的な研究フィールドとし、大規模な「自然災害に起因する産業災害」(Natech) に対する防災・減災対策を多面的・総合的に進めるための研究を組織横断的に実施する。

取り組み組織

大学(6大学)、研究所(3機関)、企業(2社)、個人(2名)、NPO、行政関係(6機関)



防災学術連携体の連絡会：2018..6.5 H.Ishimaru

NPO法人：産業防災研究所ホームページ：www.idplab.org